

みやけの風

第 78 号

平成14年(2002年)5月18日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpp.org

「17日の夜のNHKはよかったな〜」「そうだったな〜。おら見はぐっちまったよ。どんなだったよ」「神奈川県立中央農業高校の生徒らが、県内の島民に自分で育てた花を敬老祝いに贈ったり、げんき農場まで出かけたり、文化祭で三宅島のこと勉強してくれたりの話だった」「ふれあい集会にも花持って来てくれたっけ」「島の人との出会いで生徒らが明日葉の種もらって、いま芽が出たって話に、おらジーンときちまったよ」「この経験を若い人らにたくさん伝えてえよな」「だから」

みんなの声

日帰り帰宅で

目の当たりにした火山ガス

5月13日日帰り帰宅のため、竹芝栈橋に向かう。8時に港に到着、既に三宅地区の人が大勢来ていた。村の職員に名前を呼ばれ、順に船に乗り込む。予定どおり10時半、竹芝港を出発、幸い天候に恵まれ海も静かで、14日朝6時鏑が浜港に接岸する。6台のバスに分乗してそれぞれの自宅に向かう。伊豆地区は新緑で、庭木は伸び放題だった。

我が家は、換気扇のところからネズミが入って、天井に穴をあけ、各部屋に糞みついていた形跡があり、「後始末が大変で

す」。持ち出すものはダンボールにつめ、ゆうパックが受け取りに来てくれた。息子はネズミの侵入を食い止めるのに奮闘していた。

2年近く空家になっていると、庭、室内共々手に負えない、5時間位では時間に追われるばかりで、後ろ髪惹かれる思いで家を後にした。

帰路のバスは坪田周りで、港へ向かう。釜の尻を越えた位のところから、火山ガスの気配でガスマスクを付けるよう指示あり。稚取神社あたりからガスが漂い始めた。泥流で道路も崩壊し、大変な工事のよう。三池地区は一面にガスが青々と空気のように漂っている様は、不気味な恐さを感じて、

電話帳掲載内容記入票のご返送ありがとうございます!

この度は、三宅島島民電話帳第3版の発行にあたり、たくさんの方々に記入票のご返送をいただきまして、誠にありがとうございます。お手紙やメッセージを添えてくださった方、代理で書いてくださった方、本当にありがとうございました。

5月17日現在で約1120通のご返送をいただきました。まだお答えいただいている方は、**第1回目の締切日5月20日を過ぎても引き続き受け付けますので、忘れずにお送りください。**(掲載を希望されない方も、お手数ですがその旨ご記入の上、お送りください。)

仲間同士、声かけ合って一人でも多くの方に掲載いただけるよう、ご協力をお願い申し上げます。
 (三宅島災害・東京ボランティア支援センター)

島で復興のために働いてくださっている方々の健康が案じられた。

お陰様で無事に錆が浜港を2時に出向して、竹芝棧橋に予定通り接岸。帰宅中、役場の防災担当の職員や、三宅島警察署の

方々がみまわってくださり、大勢の人々に支えられていることに心より感謝申し上げます。

(葛飾区高砂 五十嵐 文子)

震災がつなぐ全国ボランティアネットワーク・東京災害ボランティアネットワーク 合同報告会

両団体は、拠点となる地域を異にする緊急救援に関わる様々な団体が連携し、災害時に重要とされる平時からのボランティアのネットワークを重要と考え活動しています。

このたび、東京災害ボランティアネットワークと震災がつなぐ全国ネットワークが年に一度の総会を東京で5月下旬に開催するにあたり、**三宅島をテーマにした合同報告会を共催で実施しよう**という話がまとまり、下記の通り、実施する運びとなりました。

三宅島島民の方3名をお招きし、率直な今のお気持ちを伺い、また、専門家のお話も交え、**ボランティアとの交流の場になれば**と思っております。

日時：5月25日(土) 15:00~17:00

場所：連合東京5F会議室

(JR田町駅下車徒歩5分、港区芝浦小学校向かい、田町交通会館ビル)

内容：島民からの現状報告、研究者から見た自然災害と人々の動き、三宅島災害と支援センターの取り組みなど

報告者：有馬 正美 氏・野田 博之 氏・宮下 雪子 氏／三宅島島民

木村 拓郎 氏／社会安全研究所所長

上原 泰男／三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局長

ほか全国からの参加者

「三宅島島民連絡会」いよいよ始動!

4月21日の「第4回三宅島島民ふれあい集会」にて、設立された「**三宅島島民連絡会**」が、**本格的に事務局機能をスタートさせました。**

まず、「三宅島島民連絡会会議」の運営(4月11日に第23回が開催されました)、「れんらくかいニュース」の発行をはじめ、行政各機関や団体との調整、会計機能の確立などが手始めに行われています。課題であった島民連絡会会議で協議された内容の情報共有についても、これまで、時々「み

やけの風」等でお伝えするのみでなかなか十分な情報公開ができておりませんでした。これからは、「れんらくかいニュース」で全世帯の方が読めるようになります。第1号は、「三宅島島民連絡会発足式」の様子と、連絡会に対する期待の声が満載した読み応えのあるものでした。

毎月1日は、「広報みやけ」に同封される様々な情報と同様、ピンク色の「れんらくかいニュース」をどうぞお楽しみに!